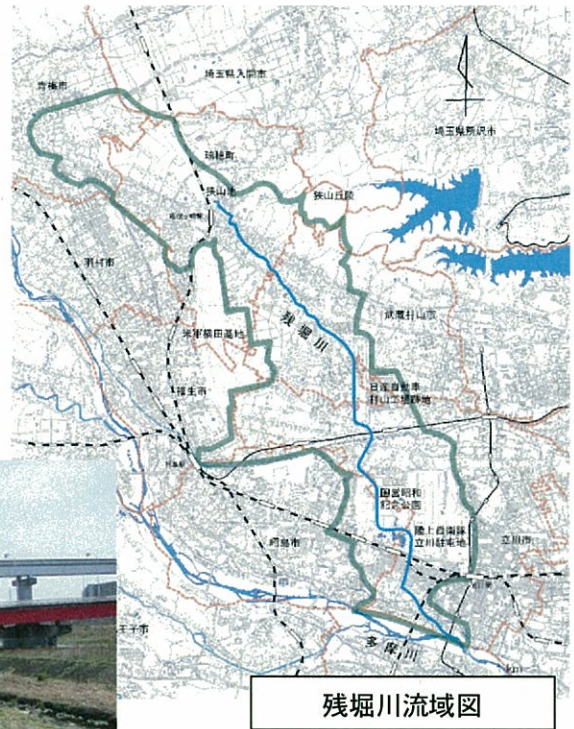
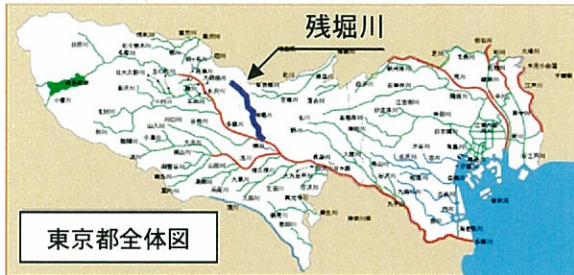


残堀川河川整備計画の概要

残堀川とは？

残堀川は、東京都西多摩郡瑞穂町の狭山池を水源とし、武蔵村山市、昭島市、立川市を経て多摩川に合流する延長14.5kmの一級河川です。

河川の流域（川に雨水が集まる範囲）は約34.7㎡あり、上流の一部に狭山丘陵と呼ばれる丘陵地帯があるほかは、ほとんどが関東ロームでおおわれた平坦な台地となっています。



狭山池（瑞穂町）

最下流部（立川市）



流域の特徴

残堀川は、昭和40年代半ばから、流域の宅地開発に伴って治水安全度が低下してきたため、河川改修による安全性の向上を図ってきました。

さらに、昭和57年には、治水施設と、流域における雨水流出抑制施設及び調節池を組み合わせた「残堀川流域整備計画」を定め、事業を進めました。

近年、河川の溢水被害は生じていませんが、整備の必要な箇所は残されています。



残堀川の整備の状況（瑞穂町）



残堀川の水涸れ状況（昭島市）

残堀川は、途中で湧水や支川の流入がほとんどなく、雨の少ない時期には流水が涸れる現象が確認されています。

昭和記念公園内などの一部区間では、階段護岸や緩傾斜護岸により河川に下りられる工夫がされています。

河川整備の目標

残堀川では、洪水に対する安全性を向上させると共に、生態系に配慮した川づくりや、水辺に親しめる川づくりを進めていきます。

計画対象区間と期間

計画対象区間は、残堀川（多摩川合流点～一級終点：狭山池）です。河川の整備から維持管理に関することも含まれます。

計画対象期間は、おおむね20～30年間としますが、河川をとりまく状況の変化や社会状況の変化に応じて見直しを行います。

河川の整備

治水

・・・洪水による水害の防止又は軽減

1時間あたり50mm規模の降雨により発生する洪水を安全に流すことのできる河道並びに調節池の整備を進めます。



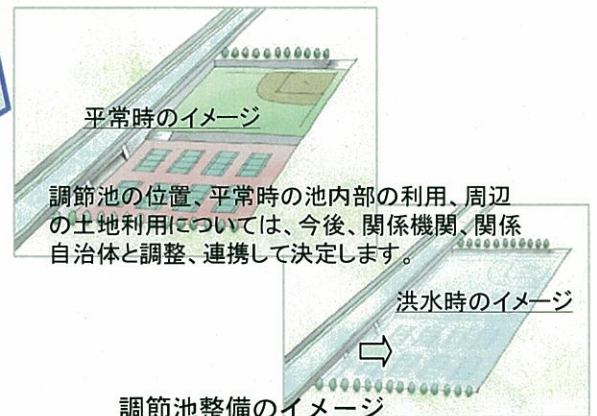
改修前の残堀川（瑞穂町）

川を広げ、
洪水を安全
に流します



改修後の残堀川（瑞穂町）

調節池により、
洪水の安全を確
保します



調節池整備のイメージ

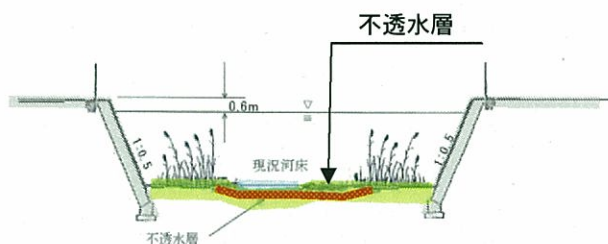
環境

・・・河川環境の保全、
創出、再生

地域の人々に親しまれ、生き物と人が共生できる川づくりを目指します。川に隣接した緑地広場や調節池の平常時の利用を進め、親水機能を高めていきます。



残堀川の階段護岸整備（武蔵村山市）



水洩れ対策のイメージ